

# 安城市内景況調査結果 (2019年4月～6月期)

## <全産業において人員不足や収益の下降が見られる>


1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 104企業
2. 調査対象時期 2019年4～6月期  
(1)前年同期(2018年4～6月)と比べた今期の状況  
(2)今期と比べた来期(2019年7～9月)の先行き見通し
3. 企業数内訳



	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	20	20	25	29	10	104
構成比	19.2%	19.2%	24.0%	27.9%	9.7%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、-16.4ポイントとなった。業況判断の前回実績(3.8)と比較すると20.2ポイントの下降であった。全業種において収益状況の下降や、雇用人員の不足が続く見通しである。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	3.8	△16.4	△11.5
売上高	2.9	△17.3	△11.6
売上単価	△4.9	△11.5	△8.6
資金繰り	△6.9	△9.7	△4.8
借入難度	△1.0	△4.8	△4.8
収益状況	△2.9	△21.1	△12.4
雇用人員	△12.8	△13.4	△10.6

凡例▶

30以上  10を超える  10～△10  △10を超える  △30以上 

		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	△16.4		△25.0		△20.0		△4.0		△31.0		20.0	
	売上高	△17.3		△30.0		△40.0		△8.0		△13.7		20.0	
	売上単価	△11.5		△20.0		0		△8.0		△13.8		△20.0	
	資金繰り	△9.7		△20.0		0		△16.0		△3.4		△10.0	
	借入難度	△4.8		△5.0		0		△4.0		△10.3		0	
	収益状況	△21.1		△30.0		△20.0		△20.0		△20.7		△10.0	
	雇用人員	△13.4		△30.0		△15.0		△12.0		0		△20.0	
来期の見通し	業況判断	△11.5		△15.0		△5.0		△12.0		△13.9		△10.0	
	売上高	△11.6		△25.0		△10.0		△12.0		△1.0		△20.0	
	売上単価	△8.6		△10.0		△25.0		0		△6.9		0	
	資金繰り	△4.8		△5.0		15.0		△16.0		△6.9		△10.0	
	借入難度	△4.8		△5.0		5.0		△24.0		△10.3		0	
	収益状況	△12.4		△15.0		△15.0		△20.0		△3.4		△10.0	
	雇用人員	△10.6		△25.0		0		△20.0		0		△10.0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。  
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。